

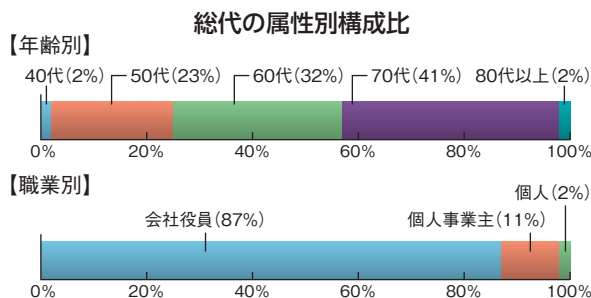
総代会

1. 総代会制度

信用組合は、組合員の相互扶助の精神を基本理念に、組合員一人ひとりの意見を尊重し、金融活動を通じて経済的地位の向上を図ることを目的とした協同組織の金融機関です。組合員の意見は出資口数に関係なく、一人一票の議決権があり、総会を通じて組合の経営に反映されることとなります。当組合の組合員数は58千名を超えており、組合員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、法令ならびに定款に基づき、総会に代わる“総代会”制度を採用しています。総代会は、決算、取引業務の決定、理事・監事の選挙等の重要事項を決議する組合の最高意思決定機関です。したがって総代会は、総会と同様に組合員一人ひとりの意見が組合の経営に反映されるよう、組合員の中から選出された総代で構成・運営されます。総代会の開催につきましては毎年6月に通常総代会を、また必要に応じて臨時総代会を開催します。

2. 総代の任期・定数および選出方法

- (1) 総代の任期・定数
 - ・総代の任期は3年です。
 - ・総代の定数は100人以上130人以内で、理事会において選挙区ごとに定められています。
- (2) 総代の選出方法
 - ・総代は総代選挙規程の定めるところにより、選挙区ごとにその選挙区に所属する組合員のうちから公平に選挙を行い選出されます。



3. 総代氏名

総代総数120名/令和3年6月末現在/順不同、敬称略/氏名の後の数字は総代就任回数

| | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|-------|----|-------|---|-------|----|-------|---|-------|----|-------|----|-------|---|-------|---|
| 阪 神 | 石原 勉 | 9 | 本岡 眞 | 6 | 大西 國義 | 5 | 坊垣嘉壽也 | 5 | 村上 功 | 4 | 船引 千廣 | 3 | 鈴木 泰一 | 3 | 明澤 邦壽 | 5 |
| | 平尾 和輝 | 3 | 池 惠二 | 3 | 藤原 英昭 | 3 | 宮川 京吾 | 3 | 長谷川善隆 | 3 | 岡田 良平 | 1 | 田中 照秀 | 5 | 木村 元司 | 3 |
| | 日和 貞雄 | 2 | 八木 弘 | 1 | 松田 順治 | 6 | 田窪 和行 | 4 | 大久保基三 | 3 | 泊 浩幸 | 3 | 永瀬 文雄 | 1 | 木田 佳文 | 9 |
| | 細井 嘉和 | 7 | 鷲尾 慎一 | 3 | 栗須 勝夫 | 3 | 伊藤 泰博 | 3 | 秋澤 昌範 | 13 | 藤原 清孝 | 5 | 南 榮治 | 3 | 藤井 敏行 | 3 |
| 東 播 | 中田 利明 | 3 | 梶浦 正弘 | 3 | 内藤 芳光 | 2 | 織田 貴洋 | 1 | 岡田 英彦 | 9 | 堀口 勝重 | 5 | 有馬 英一 | 4 | 藤原 康雄 | 3 |
| | 中井 宏明 | 10 | 松井 英樹 | 9 | 田村 彰敏 | 5 | 宮脇 昌司 | 5 | 山本 一郎 | 4 | 柳田 吉亮 | 3 | 土井 嘉彦 | 3 | 河合 孝治 | 2 |
| | 山本 直樹 | 1 | 長谷川雅光 | 1 | 井澤 文男 | 16 | 藤原 龍三 | 6 | 神田 啓三 | 3 | 森 幹雄 | 3 | 赤瀬 伸 | 2 | 齒朶 由美 | 1 |
| | 片岡 徹 | 10 | 来住 泰幸 | 6 | 生田 弘之 | 5 | 藤岡 幹生 | 4 | 村上 典正 | 2 | 園田 純也 | 2 | 竹内 俊行 | 1 | 門脇 紀博 | 5 |
| | 藤田 和男 | 4 | 數原 宏幸 | 3 | 有延 義司 | 9 | 柴田 憲生 | 3 | 近藤 光雄 | 3 | 藤阪 光一 | 2 | 足立 達明 | 1 | 竹内 裕児 | 1 |
| | 戸田 通博 | 4 | 吉田 保昭 | 3 | 五百藏満弘 | 1 | 木田 宗浩 | 1 | 久野 大介 | 1 | 小田 毅 | 11 | 大西 道憲 | 9 | 浅田 昇 | 6 |
| | 高井 義隆 | 3 | 志方 康雄 | 2 | 藤原 久夫 | 1 | 橋爪 義之 | 1 | | | | | | | | |
| 西 播 | 永井 敬裕 | 9 | 井上 芳憲 | 8 | 江川 和男 | 4 | 星長 彰 | 3 | 松原 邦彦 | 2 | 横田 靖彦 | 4 | 福崎 勝之 | 4 | 富永 卓男 | 4 |
| | 竹内 稔 | 3 | 松本 良三 | 3 | 武内 憲章 | 2 | 横山 武三 | 1 | 喜多村 敏 | 3 | 木南 一志 | 2 | 緒方 宏紀 | 1 | | |
| 摂 丹・馬 | 福岡 正隆 | 5 | 作田 善司 | 4 | 内田 知洋 | 3 | 長谷川 実 | 2 | 吉田 浩三 | 2 | 松原 正武 | 2 | 中野 正則 | 6 | 今西 俊郎 | 3 |
| | 狩場 一龍 | 3 | 田中 義治 | 2 | 田中 克一 | 1 | 土谷 孝夫 | 5 | 川口 武 | 3 | 緒方 郁俊 | 3 | 仙賀 俊輝 | 3 | 中山 弘樹 | 2 |
| | 袖長 茂 | 10 | 植村 守 | 5 | 岩佐 卓朗 | 3 | 岡本 慎二 | 3 | 西浦 辰司 | 1 | | | | | | |

4. 総代会の議事内容

令和3年6月22日開催の第70回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり承認可決されました。

- (1) 報告事項
 - 第70期事業報告ならびに貸借対照表および損益計算書報告の件
- (2) 決議事項
 - 第1号議案 第70期剰余金処分案承認の件
 - 第2号議案 第71期事業計画および収支予算案承認の件
 - 第3号議案 組合員除名の件
 - 第4号議案 任期満了に伴う理事9名、監事3名選任の件
 - 第5号議案 慰労金贈呈の件



第70回通常総代会

けんしんのあゆみ

| | | | |
|-----------|---|-----------|------------------------|
| 昭和26年 3月 | 兵庫県商工信用組合を神戸市生田区(現中央区)栄町通4-22 に設立 初代組合長に細田忠治郎が就任 | 昭和59年 2月 | 本部棟、新築移転 |
| 昭和26年 12月 | 第2代理事長に日本銀行出身の中野正人が就任 | 平成 4年 4月 | 業界初、日本銀行蔵入復代理店事務取扱開始 |
| 昭和34年 6月 | 全国信用協同組合連合会に加入 | 平成 7年 5月 | 第4代理事長に村上正が就任 |
| 昭和37年 9月 | 本店を神戸市生田区(現中央区)栄町通3-22 に移転 | 平成 9年 11月 | 阪神労働信用組合より事業譲り受け |
| 昭和46年 6月 | 第3代理事長に日本銀行出身の龍治紀男が就任 | 平成10年 11月 | 神戸手形交換所加盟、業界初の手形直接交換開始 |
| 昭和58年 11月 | 名称変更し、兵庫県信用組合となる | 平成11年 6月 | 第5代理事長に和泉吉俊が就任 |
| | | 平成15年 6月 | 第6代理事長に末廣安治が就任 |